

# 糸のみち

## 「糸のみち—染・織」リサーチプログラム

### 方丈庵で楽しむ双子織と創作ダンスの出会い

10月4日(土) 13:15~13:45 入間市博物館アリット エントランスホール 方丈庵ほか

江戸時代から明治にかけて入間地域で作られ、江戸の町人の人気を博した綿織物の優品・唐棧や双子織。アリットを活動拠点とする野田双子織研究会は、その技術を研究、伝承しています。研究会によって製作された「双子織」と、2010年度SMF事業から生まれた仮設茶室「方丈庵」、ダンスユニット「転々」のコラボレーションが新たな創造空間を生み出します。

出演：ダンスユニット「転々」

紺川真理子、桜井陽、藤井香、松元日奈子

「おしゃべりと双子織」(初演)「鳥わたる」(作曲：笠松泰洋)

協力：野田双子織研究会(入間市博物館ボランティア)



▲方丈庵でのダンスパフォーマンス

入間市博物館アリットでは、10月4日(土) 13:00~19:30 / 10月5日(日) 10:00~16:00 アリット秋のお茶まつり2014開催中!

月見の茶会、手もみ茶体験、煎茶品種飲みくらべなど多彩なイベントが展開されます。

お問合せ：入間市博物館アリット 〒358-0015 埼玉県入間市二本木100

Tel.04-2934-7711 <http://www.alit.city.iruma.saitama.jp>

バスで行く 川口アート散歩 雨天決行

## 川口染織業の記憶をたどる「糸のみち」

首都圏随一の「ものづくりのまち」川口。江戸時代から昭和初期にかけて、鑄物に次ぐ地場産業として染織業が盛んでした。街の発展を支えたものづくりゆかりの地を訪ね、地域の文化を織りなす記憶の糸をたどります。

### Part 1 糸のみち—藍染の工房を訪ねる

旧新郷村(現川口市新郷地区)で栄えた藍染め。地域を代表する染め師の案内のもと、関東一帯の歴史文化を伝える希少な一軒である匠の工房を見学します。

2014年10月12日(日)

講師：西耕三郎(染め師)

現地解説：田中昭夫(藍染師)

対象：中学生～一般 25人

参加費：無料(昼食代別1,500円以内)

申込み：事前申込み(下記参照)

申込み締切日：9月24日(水) 必着

集合：9:55(9:45～受付) / 解散：17:00

ルート：アトリアで(川口の匠vol.4)鑑賞 → 西染色工房見学 → お店で昼食 → 正藍型染「紺定」見学 → 江戸袋氷川神社で「江戸袋の獅子舞」 → アトリアで解散

※都合により一部変更となる場合がございます。



▲正藍型染「紺定」

#### 【申込方法】

①～⑤を、はがき・FAX・メール(takumi@atlia.jp)のいずれかに明記してお送りください。当選された方にのみ、締切日より一週間ほどの後通知はがきを発送いたします。①希望のコース名 ②参加希望者全員の名前(ふりがな) ③年齢・学年④郵便番号・住所(建物名・部屋番号まで)⑤電話番号(緊急の際に連絡がとれるもの)

宛名：川口市立アートギャラリーアトリア ワークショップ係

### Part 2 織のみち—双子織のルーツを訪ねる

旧塚越村(現蕨市)から伝わり川口織物業の基礎となった「双子織」。学識者とともに織物業隆盛の跡を辿り、精緻な縞模様ファッションとそこから広がる織物文化の魅力を探ります。

2014年11月2日(日)

講師：田村 均(埼玉大学教授/織物史研究)

現地解説：佐藤直哉(蕨市立歴史民俗資料館学芸員)

吉田金造(吉田織物代表/双子織復興活動)

協力：はたごっこ(機織り活動/双子織復興活動)

河鍋楠美(公益財団法人 河鍋暁斎記念美術館館長)

対象：中学生～一般 25人 / 参加費：無料(昼食代別1,500円以内)

申込み：事前申込み(下記参照) / 申込み締切日：10月15日(水) 必着

集合：9:55(9:45～受付) / 解散：17:00

ルート：アトリアで埼玉の織物業についてのレクチャー → 河鍋暁斎記念美術館見学 → お店で昼食 → 蕨市立歴史民俗資料館(本館・分館)見学 → サイボー株式会社工場跡見学 → アトリアで解散

※都合により一部変更となる場合がございます。

#### 【ご注意】

※1回の応募で複数のコースは申込みできません。(1コースにお一人複数枚での申込みも断っています。)

※同一コースをご希望のご家族(姉妹兄弟)に限り、併記可能です。その際は対象年齢にご注意ください。※メールアドレスは当日イベント申込みのみに有効です。※内容・受付に関するお問い合わせは電話・窓口でのみ承ります。



▲蕨市立歴史民俗資料館分館



あなたと  
どこでも  
アート  
小さな家  
プロジェクト

# 糸のみち

## 「糸のみち—染・織」リサーチプログラム

バスで行く **羽生アート散歩** 雨天決行

Part 1

### 藍染工場を訪ねて

埼玉県内有数の藍染工場がある羽生市を訪ね、工場見学と藍染体験をします。



▲武州中島紺屋

2014年9月6日(土)

講師：藍染作家 鈴木道夫

定員：20名 (Faxによる事前申込制、先着順)

参加費：無料 (昼食代2,100円)、藍染体験 (ハンカチ800円、バンダナ1,100円) は自己負担。

集合：9:45 / 17:00 三番町ギャラリー (川越市南通町14-3)

出発：10:00

ルート：野川染織工業株式会社 見学 → 昼食 (カームカフェでコースのランチ) をいただきながら、羽生にお住まいの藍染作家 鈴木道夫のお話をうかがいます。→ 小島染織工業株式会社 見学 → 武州中島紺屋 見学 + 藍染体験 → 野川染織工業ショップ「ジャンプルーテラス」→ 三番町ギャラリー

★工場敷地内を見学しますので、歩きやすい靴でご参加ください。

バスで行く **越生アート散歩** 雨天決行

Part 2

### 裏絹の里を訪ねて

かつて市の立った街道を歩く〈二七の市〉。建築史の専門家と、3階建ての蔵・保存された町家を訪ね、昭和初期まで絹織物業の町として栄えた歴史を辿ります。



▲越生金子家



▲越生岡野家

2014年10月5日(日)

講師：荒牧澄多 (NPO法人 全国町並み保存連盟常任理事)

定員：20名 (Faxによる事前申込制、先着順)

参加費：無料 (昼食代1,000円程度) は自己負担

集合：10:45 三番町ギャラリー (川越市南通町14-3)

出発：11:00

ルート：岩井屋 (埼玉県入間郡越生町越生891) → 町役場前 → 岡野家住宅店蔵 → 金子家住宅 → 街道 → 街道裏の川筋 → 町役場前 → 三番町ギャラリー

参考資料

●登録有形文化財「岡野家住宅店蔵」(3階建ての蔵)

大正4年(1915)に竣工された国登録有形文化財「岡野家住宅店蔵」で、当時は「絹屋」という屋号をもつ長島家が絹織物業を営んでいたといわれています。越生町は古くから街道の要衝で、市が開かれたことから今市村といわれていました。やがて越生絹と呼ばれる織物が織られるようになり、江戸時代から明治、大正と絹を取り引きする市は大盛況。昭和初期まで絹織物業の町としておいに栄えました。

●登録有形文化財「金子家住宅」

安政5年(1858)に生糸の仲買取引の豪商・島野伊右衛門が店舗兼住宅として建築した木造平屋一部2階建てです。

川越アート散歩 雨天決行

Part 3

### 糸のみち染のみち

染織展見学+まちアート発見ツアー

2014年12月6日(土)

講師：加藤忠正 (NPO法人 アーバンデザイン研究体理事)

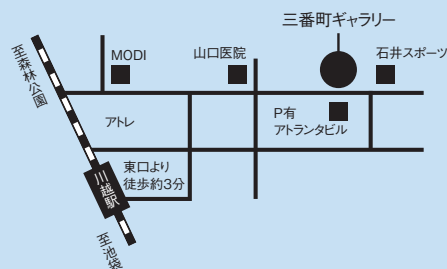
参加費：無料 (事前申し込みは、必要ありません。)

集合：14:00 川越市立美術館 エントランスホール 所要時間：約3時間

ルート：川越市立美術館 → 弁天横丁ギャラリー・なんとうり → 三番町ギャラリー



▲ギャラリー・なんとうり



申込み：Part1、Part2ともFax: 049-227-8178 またはe-mail: kusano@arteclub.orgでアルテクラブ事務局まで。先着20名となります。Part3は申込み不要です。いずれも歩きやすい服装でお出かけください。